



平成21年度
道路除雪の取り組み

- 車道除雪延長 954.2 km
- 歩道除雪延長 131.5 km

11月10日から

24時間体制

除排雪一一〇番

☎22局8400

もうすぐ冬…。道内でも屈指の豪雪地帯の岩見沢。ここ2、3年は降雪量が6m前後ですが、10年ぐらい前だと8m、それより前では10mを超えた年もありました。

雪が積もると、必ずしなければならぬことは、雪かきです。多少の雪かきは運動になって良いかもしれませんが、回数が多くなるとやはり憂うつです。

市は、毎年、冬期間の安全で安心な市民生活を確保するため、迅速な除排雪作業の徹底に努め、万全の体制で取り組んでいます。その一方で、たくさんの方の苦情や要望もいただきます。

そこで、今月号では現在の除排雪

市民の皆さんの 協力が必要です

段差プレートなど
降雪期には撤去しよう



雪に埋もれて見えにくく、除雪車の故障の原因にもなります。

道路への
雪出しはやめよう



道路を狭くして、車が通れなくなり大勢の方に迷惑がかかります。

路上駐車はやめよう



除雪車が通れず、作業を断念することもあります。

市は、降雪量が10cm以上になると予想される時に除雪の作業を始めますが、1台の除雪車が、決められた地域を除雪するには、5、6時間かかります。通勤・通学の時間帯である午前7時ごろまでに、作業を終わらせるためには、深夜の1時ごろから作業を始めなければなりません。

しかし、明け方に急に強い降雪があったり、一晩中降り続いたりした

雪が積もっているのに除雪されていないよ
除雪作業はとても時間がかかります。深夜に作業を始めなければ、朝までに終わりません。



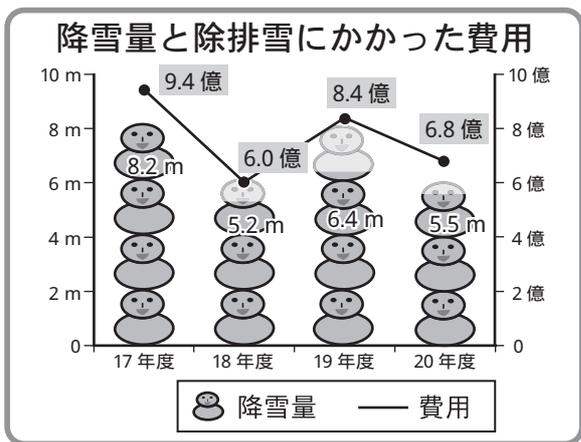
降り積もった雪を道路脇に寄せる作業のこと。

の取り組みをお知らせするとともに、皆さんと一緒にこれからの除排雪を考えてみたいと思います。

家の前に雪を置いていかないで限られた時間の中で効率よく作業を進めるため、道路の両側へのかき分け除雪を行っています。

場合は、作業が通勤・通学の時間帯にずれ込み、交通渋滞や事故が心配されるので、作業を見送ることもあります。また、吹雪で吹き溜まりができたときや暖気で道路がザクザクになったときには、その状況に応じて作業を行っています。

かき分け除雪では、どうしても皆さんの家の前などには雪が残ってしまいます。一軒ずつ雪の処理を行うことは、



作業時間が大幅に増えるだけでなく、費用も現在の何倍もかかってしまいます。

そのため、玄関や車庫の前などに残った雪は、ご自分で処理していただくようご協力をお願いします。

なお、ザクザクになった雪を除雪するときは、できる限り雪を置いていかないように作業をしています。

雪排搬運

たつたがみ積み上がった作
運搬場へ運ぶ
道路脇に積み上げた雪を
道路の雪を
業のこと。

道が狭くなってきたので家の前を排雪して欲しい

排雪は、時間と費用の点から、すべての道路で行うことができません。

市は、積雪が1m程度あって、今後の降雪や気象状況などで交通に障害をおよぼすと判断するときに、排雪計画路線のうち、バス路線をはじめとする幹線道路や主要な通学路を優先して排雪作業を行います。

排雪する日時を教えてください
混乱を招く恐れがあると考えていますので皆さんにお知らせしていません。

排雪の日時がわかると、自分の所有地の雪を道路に出したり、作業中に出したりする方がいます。これらの行為は、道路の通行や作業が危険になったり、作業が予定どおり進まなかったり、また、想定していた雪の量を超えて運搬することにもなり、費用が大きくふくらんでしまったり、皆さんにかえって負担をかけることになると考えています。

また、排雪道路の沿線の方だけに、この行為を許すことは、市民の皆さんに不公平ともなりますので、前もってお知らせはしていません。

排雪の方法には2種類あるようですが

完全排雪とカット排雪があります。

完全排雪は、ロータリー除雪車で雪をダンプカーに積み込んで、雪堆積場へ運搬するとともに、歩道などに残った雪もきれいに取り除きます。

これには、機械や人手がたくさん必要で、費用も通常の除雪に比べる

完全排雪の様子



と何倍にもなるので、ひと冬に何度もできません。

一方カット排雪は、雪をダンプカーに積み込んで、雪堆積場へ運搬するのは完全排雪と一緒にですが、歩道などに残った雪は取り除きません。

どちらの方法で排雪するかは、その時の雪の量や道路の安全性などを考慮して、判断しています。

市民の要望もさまざま

このような方法で、市は除排雪作業に取り組んでいます。必ずし

カット排雪の様子



色々ある

除雪Q&A

ごみステーションをふさがないで

ゴミステーションは、個々の住宅の玄関、車庫前とは違い、地域コミュニティで守られている施設だと思えます。

できる限り雪を置かないように除雪作業を行います。残った雪は、地域の方々に処理していただくなどのご協力をお願いします。

も、市民の皆さんが満足するものはなっていないと思います。

昨年度、市に寄せられた、除排雪の苦情や要望は、およそ450件ありました。

過去の件数の推移を見ると、降雪量が多いと、苦情や要望の件数が多くなる傾向にあるようです。

内容は、家の前や道路などに大量に雪が残っている、除雪作業が行われていない、除雪の仕方が悪い、道路の拡幅やわだち、ザクザク路面解消など、市民の皆さんが雪の処理などに大変苦労していることがうかがえます。

皆さんも、色々な意見を持っていることと思います。

安全・安心で快適に暮らせるまちをつくるために、除排雪はしっかりとしなければならぬことであり、一番に考えていかなければならないことです。

しかし、できることを最大限に行うために、予算を確保し進めていますが、それには限りがあり、なかなか皆さんの期待どおりにはならないのが現状です。

そこで、皆さんに考えていただきたいのです。

積雪地で生活する中で、雪が無い

ときと同様の生活を求めています。積雪地である以上、雪で多少不便になるのはやむをえないことではないでしょうか。

これからは、市民の皆さんが協力し合って、できることは自らで行い、市は皆さんのできないことを行ったり、皆さんが自らやろうとす

地域の自主排雪を支援

冬をより安全に過ごすため、地域内の生活道路の運搬排雪を地域自らが計画し行うことができるように支援しています。

平成19年度は16町内会、平成20年度は5町内会が行いました。



市で負担

- ロータリー車 1台
- タイヤショベル 2台程度
- 誘導員 3人程度



地域で負担

- ダンプトラック 必要台数

地域除雪センターを設置

地域と市、除雪業者が連携して、地域の実情に合わせた除排雪ができるように取り組み、効率的な除排雪を目指します。



協働で実施

- 除排雪対策本部との連絡調整
- 地域で雪を押し込む場所の確保
- 間口除雪の応援



協議して実施

- 町会で行う自主排雪

向いの家に比べて置いていく雪の量が多いよ

道路幅や左右の家の数、雪を押し込む場所、電柱の位置、路上駐車している車など、その時の道路の状況に応じて、作業を行っています。どうしても左右差が出てしまいます。

そこで、進行方向を毎回変えてみては、などの提案がありますが、運転手が道路や雪を押し込む場所を間違えるなどの混乱が予想されるため行っていない。

吹雪で道が埋まっているのに除雪が来ない

暴風雪で視界が悪いなど、気象状況によっては、危険で作業できない場合があります。視界が確保されれば作業を開始します。

また、暴風雪のときは、不要不急の外出は控えましょう。

降雪計画路線じゃないけど排雪したいときは？

市は、自主排雪を支援しています。町会単位などで利用を検討してみてください。

(上部囲み記事参照)